



今を大切に生きてください
小清水町更生保護女性会が「命の学習」を実施

9月18日（水）、小清水小学校6年1組、2組、つくし学級の生徒50名を対象に、小清水町更生保護女性会（河合タエ子会長）による「命の学習」が実施されました。

会長が講師となり、赤ちゃんを育てるお母さんのお腹の仕組みや、生命の神秘性についての講義と実習が行われました。

参加した生徒たちは、話の内容に時折恥ずかしい素振りを見せながらも、命の長さではなく、今をたくましく一生懸命生きることの大切さを学びました。

また、特別ゲストとして参加した9人の乳幼児を、生徒一人ひとりが「だっこ」をさせてもらい、小さな命と触れ合いました。



ご長寿の方々に感謝の気持ちを込めて
平成25年度敬老会が開催されました

9月12日（木）、長年ご苦労を重ね現在の小清水町を築き上げてこられた高齢者の皆さんに、感謝の気持ちを込めた敬老会が愛ホールで開催されました。

会に出席された最高齢は、男性、佐藤春雄さん（2区）91歳、女性、今井ツユ子さん（9区南）96歳で、林町長から花束が贈呈されました。

会場では、じゃがいもスイートポテトや甘酒などが振る舞われ、小清水保育所の児童や舞踊同好会の皆さんによる歌や踊りが披露されるなか、出席された皆さんは楽しいひと時を過ごしていました。



被災された方へ継続した支援を
小清水中学校生徒会が募金活動を行いました

去る7月28日（日）に開催されたじゃがいもフェスティバルにて、小清水中学校生徒会が「東日本大震災で被災された方々への募金活動」を行いました。

9月13日（金）、第45期生徒会長上本洋助さんは「少ない額ですが、少しでも被災された方々のお役に立てれば幸いです。今後も続けて

支援していきたいです。」と集まった義援金2万300円を小清水赤十字奉仕団委員長大出洋子さんに手渡ししました。

義援金は、奉仕団を通して日本赤十字社北海道支部に送金されます。

小清水中学校の皆さん、ご協力頂いた皆さま、ありがとうございました。



じゃがいも街道を清掃
秋のゴミゼロワリーン作戦が行われました

9月7日（土）、ゴミゼロ運動推進委員会（水次弘会長）の主催により「ゴミゼロワリーン作戦」が町道21線じゃがいも街道で行われました。

秋らしい穏やかな天候となったこの日は、50名を超えるボランティアの皆さんが集まり、道路周辺にポイ捨てされたごみを約1時間かけて拾いました。

これからもきれいな町づくりのために、ポイ捨てや不法投棄を「しない」「させない」「許さない」ための運動をおこなってまいりますので、町民の皆さんに引き続きのご協力をお願いいたします。



交通事故の減少を願い
小清水済世クラブが町内のカーブミラーを清掃

9月29日（日）、小清水済世クラブの皆さんが町内のカーブミラー清掃を行いました。集まった10名の会員は、4班に分かれ町内のカーブミラーを回り、雑巾などでほこりを拭き取りました。

同クラブはスポーツ少年団への支援や、大麻除去作業に参加するほか、小学校新入生へ防犯ベルを贈るなどして、地域の安全と子どもたちの健全育成に大きく貢献されています。



めざせ安全で守心な町
「秋の全国交通安全運動」啓発運動を実施

9月21日～30日の10日間、秋の交通安全運動が実施され、全座席シートベルトの着用や飲酒運転の根絶、居眠り運転による交通事故防止を呼びかける啓発運動が行われました。

本町においても、9月29日（日）、7区川東自治会の皆さんが、国道334号の農協スタンド前で、交通安全旗を持って啓発活動を行い、交通安全を呼びかけました。